

香川大学における教務情報を基にした 同窓会名簿管理システムの内製開発

谷崎 勇太

香川大学 大学院創発科学研究科／香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター

1. はじめに

- 卒業生と大学との継続的なつながりは、在校生のキャリアの選択肢を広げるとともに、大学への寄附や支援、卒業後の進路情報を活用した大学運営につながる**大学の重要な資産**である
- しかし、学生基本情報、就職情報、連絡先情報は個別のシステムで管理されており、卒業生情報を**戦略的に活用するための基盤が十分に整備されていない**
- 教務情報と就職情報を統合し、**卒業生情報を一元管理・可視化**する同窓会名簿管理システムを内製開発した

2. 同窓会名簿管理システム

- 同窓会名簿データベースは、学生基本情報、連絡先情報、就職情報で構成される（図1）
- 教務システムと就職活動状況記録システムから取得したデータは、学籍番号をキーとして統合され、同窓会名簿データベースに格納されるとともに、卒業生情報として可視化される（図2）
- Microsoft 365のSharePoint, Microsoft Power PlatformのPower AutomateおよびPower BIを用いて開発した
- 就職先企業検索画面（図3）は、卒業生の就職先企業を可視化することで、在籍者数の多い企業を把握し、在校生へのキャリア支援に活用できる
- 卒業生住所検索画面（図4）は、卒業生の居住地を可視化することで、地域ごとの在住者数を把握し、同窓会活動や卒業生との継続的な関係構築に活用できる



図1 同窓会名簿データベースのE-R図

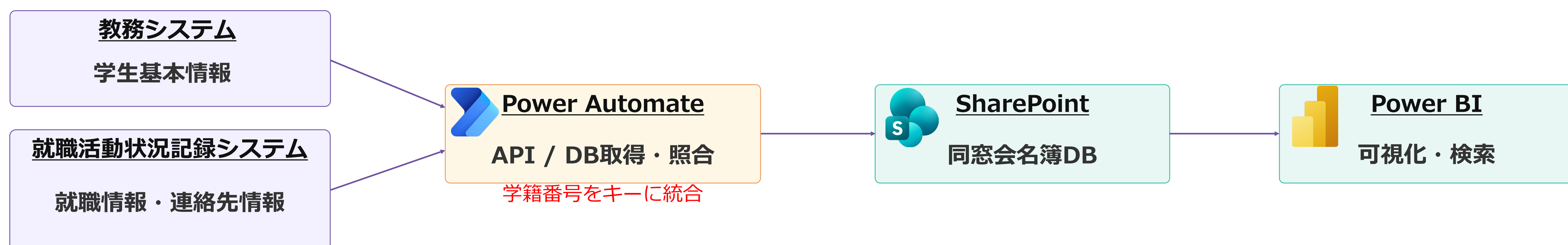


図2 システム概要図



図3 就職先企業検索画面



図4 卒業生住所検索画面

3. まとめ

- 本発表では、**教務情報と就職情報を統合**した同窓会名簿管理システムについて紹介した
- 同窓会名簿管理システムは、**卒業生情報の一元管理および活用**を支援する
- 卒業生の就職先企業や居住地を可視化することで、**卒業生情報を活用するための基盤を構築**できた